

### 第3回部会の開催結果

令和2年1月29日～30日に国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにおいて3つの部会を開催し、各部会において部会長及び副部会長を選任してから、各委員による今年度の取組状況及び来年度の取組予定に関する情報共有及び意見交換を行うとともに、環境省が検討している「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画」（案）について説明があり、意見交換を行った。

また、普及啓発・適正利用部会及び海域・陸域対策部会では、特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金が検討している「八重山のサンゴ礁を守るフレンドシップ(仮称)」や石西礁湖ポータルサイトの改修について意見交換を行った。

学術調査部会では、第25回協議会において事務局から提案を行った部会内への作業チームの設置について、具体的な進め方や検討テーマ等について意見交換を行った。

#### 1. 各部会の開催概要

＜普及啓発・適正利用部会＞

日 時：令和2年1月29日（水）9：30～12：00

出席者：21名（個人5名、団体・法人10名、行政9名 ※重複3名）

＜学術調査部会＞

日 時：令和2年1月29日（水）14：00～17：10

出席者：16名（個人7名、団体・法人8名、行政4名 ※重複3名）

＜海域・陸域対策部会＞

日 時：令和2年1月30日（木）9：30～12：00

出席者：21名（個人6名、団体・法人9名、行政9名 ※重複3名）

#### 2. 各部会の部会長・副部会長の選任

各部会の出席委員の互選により、以下のとおり部会長・副部会長が選任された。

＜普及啓発・適正利用部会＞ 部会長：大堀健司委員（エコツアーふくみみ）  
副部会長：（公財）WWF サンゴ礁保護研究センター  
センター長 小林俊介委員

＜学術調査部会＞ 部会長：中村崇委員（琉球大学）  
副部会長：鈴木豪委員（西海区水産研究所亜熱帯研究センター）

＜海域・陸域対策部会＞ 部会長：吉田稔委員（八重山サンゴ礁保全協議会）  
副部会長：（公財）WWF サンゴ礁保護研究センター  
センター長 小林俊介委員

### 3. 今年度の取組状況及び来年度の取組予定

事前に委員から提出された取組シート及び当日の口頭説明等により、今年度の取組の実施状況及び来年度の取組予定について共有を行った。

⇒資料 2-2

### 4. 部会で意見交換された事項

<普及啓発・適正利用部会><海域・陸域対策部会>

○八重山のサンゴ礁を守るフレンドシップ（仮称）について

- ・特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金より、サンゴ認定制度の検討を進めている中で運用体制等に多くの課題があり、検討にさらに時間が必要な状況から、サンゴ礁保全の行動をしている事業者を幅広く募集し、登録する制度も同時に検討を進め、それを協議会の取組として実施できないか、旨の提案があった。
- ・出席した委員からは、協議会として取り組む場合に、協議会委員との関係性が不明確で、協議会の役割と重複性があること、様々な立場の人が登録することで利害関係が生まれる可能性があることへの懸念等を示す意見が聞かれた。
- ・特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金が引き続き検討を行う予定となった。

○石西礁湖ポータルサイトの改修について

- ・現在のサイトが設立されて 10 年以上が経過しており、協議会の体制変更や行動計画の策定など最近の動きを反映する必要があることから、事務局よりサイトの改修をするとの説明が行われた。
- ・出席した委員からは、過去の会議資料等は貴重なものでアーカイブ機能を維持してほしい、得意分野や専門分野等を整理した委員名簿を掲載してはどうか、スマートフォン等に対応したサイトにすべき、といった意見が出された。
- ・今年度は既存ページの入れ替え等の最低限の改修を実施し、来年度以降も引き続き改修を進めていく予定となった。

<学術調査部会>

○学術調査部会の進め方等について

- ・部会内に設置する作業チームの役割を含む今後の部会の進め方や作業チームにおける検討テーマ等について意見交換が行われ、検討テーマについては部会内だけでなく協議会委員に広く照会を行うことになった。

⇒資料 2-3

- ・作業チーム及び部会での議論を元に石西礁湖の現状を分かりやすくマップに示す事務局の提案については、過年度の調査結果の整理とも合わせて進めていくことが確認された。
- ・環境研究総合推進費による「高 CO2 時代に対応したサンゴ礁保全に資するローカルな環境負荷の閾値設定に向けた技術開発と適応策の提案」の研究が進められており、連携を図っていくことが提案された。